

20 東京都特別支援学校PTA連合会

番号	項目	「東京都女性活躍推進計画」 記載の内容	令和6年度取組実績
II 男女平等参画に向けたマインドチェンジ			
2 教育・学習の充実			
(1) 学校での男女平等			
201	地域での教育	(1) 障害があっても子供たちがひとりの人間として尊ばれ、人権意識や男女平等感覚を学校の様々な場で育てられるよう、PTA活動や卒業後のアフターケア等での機会を捉え、取り組んでいきます。 (2) 障害があっても子供たちがひとりの人間として地域に受け入れられ、人権・男女平等の理念のもとに尊ばれるよう、団体として様々な機会に発言していきます。 (3) 障害者に対する偏見をなくし、障害者への差別がなくなるように様々な機会に団体として発信していきます。	(1) 障害があっても子供たちがひとりの人間として尊ばれ、人権意識や男女平等感覚を学校の様々な場で育てられるよう、PTA活動や卒業後のアフターケア等での機会を捉え、取り組みました。 (2) 障害があっても子供たちがひとりの人間として地域に受け入れられ、人権・男女平等の理念のもとに尊ばれるよう、団体として様々な機会に発言しました。 (3) 障害者に対する偏見をなくし、障害者への差別がなくなるように様々な機会に団体として発信をしました。
(3) 多様な学習・研修機会等の提供			
221	地域での教育	(1) 障害があっても子供たちがひとりの人間として尊ばれ、人権意識や男女平等感覚を学校の様々な場で育てられるよう、PTA活動や卒業後のアフターケア等での機会を捉え、取り組んでいきます。 (2) 障害があっても子供たちがひとりの人間として地域に受け入れられ、人権・男女平等の理念のもとに尊ばれるよう、団体として様々な機会に発言していきます。 (3) 障害者に対する偏見をなくし、障害者への差別がなくなるように様々な機会に団体として発信していきます。	(1) 障害があっても子供たちがひとりの人間として尊ばれ、人権意識や男女平等感覚を学校の様々な場で育てられるよう、PTA活動や卒業後のアフターケア等での機会を捉え、取り組みました。 (2) 障害があっても子供たちがひとりの人間として地域に受け入れられ、人権・男女平等の理念のもとに尊ばれるよう、団体として様々な機会に発言をしました。 (3) 障害者に対する偏見をなくし、障害者への差別がなくなるように様々な機会に団体として発信をしました。
3 あらゆる分野における女性の参画拡大			
(2) 防災・復興分野			
243	防災・復興分野における男女平等参画推進	避難所等で、女性や障害者が不自由な状況に置かれていることも報道されていることから、こうした点についての細かい配慮がなされるように啓発活動を行います。	避難所等で、女性や障害者が不自由な状況に置かれていることも報道されていることから、こうした点についての細かい配慮がなされるように啓発活動を行いました。
(3) 地域活動			
257	父親等のPTA参加	保護者が、女性・男性を問わずPTA活動に参加しやすい環境の整備 (1) PTA役員等の参加について、男性の積極的な参加をより一層促します。 (2) 会議時間の設定等を工夫し、柔軟な活動体制を検討します。 (3) 活動内容等の意思決定について、女性・男性それぞれの意見が互いに尊重されるよう工夫します。 (4) 男性保護者の会による行事等の開催を各学校単位で実施します。 (5) ボランティア等の専門家を招いた講演会を実施し、各学校において社会参加への意識が高まるよう促す活動を実施します。	保護者が、女性・男性を問わずPTA活動に参加しやすい環境の整備 (1) PTA役員等の参加について、男性の積極的な参加をしました。 (2) 会議時間の設定等を工夫し、柔軟な活動体制を検討し、修正して対応しました。 (3) 活動内容等の意思決定について、女性・男性それぞれの意見が互いに尊重されるよう工夫しました。 (4) 男性保護者の会による行事等の開催の各学校単位での実施を促しました。 (5) 専門家を招いた講演会を実施し、各学校において社会参加への意識が高まるよう促す活動を実施しました。

番号		項目	「東京都女性活躍推進計画」 記載の内容	令和6年度取組実績
Ⅲ 多様な人々の安心な暮らしに向けた支援				
4 障害者への支援				
	284	地域での教育	(1) 障害があっても子供たちがひとりの人間として尊ばれ、人権意識や男女平等感覚を学校の様々な場で育てられるよう、PTA活動や卒業後のアフターケア等での機会を捉え、取り組んでいきます。 (2) 障害があっても子供たちがひとりの人間として地域に受け入れられ、人権・男女平等の理念のもとに尊ばれるよう、団体として様々な機会に発言していきます。 (3) 障害者に対する偏見をなくし、障害者への差別がなくなるように様々な機会に団体として発信していきます。 (4) さまざまな障害をもつ児童・生徒の一人一人のニーズに沿った特別支援教育の実施に向け、都や地域・学校に理解を求めて活動していきます。 (5) 障害児教育を行う上で共通の課題となるテーマを取り上げ、専門家の講演を受けるワークショップ形式にて啓蒙活動を行います。	(1) 障害があっても子供たちがひとりの人間として尊ばれ、人権意識や男女平等感覚を学校の様々な場で育てられるよう、PTA活動や卒業後のアフターケア等での機会を捉え、取り組みました。 (2) 障害があっても子供たちがひとりの人間として地域に受け入れられ、人権・男女平等の理念のもとに尊ばれるよう、団体として様々な機会に発言をしました。 (3) 障害者に対する偏見をなくし、障害者への差別がなくなるように様々な機会に団体として発信をしました。 (4) さまざまな障害をもつ児童・生徒の一人一人のニーズに沿った特別支援教育の実施に向け、都や地域・学校に理解を求める活動をしました。 (5) 障害児教育を行う上で共通の課題となるテーマを取り上げ、専門家の講演を受けるワークショップ形式にて啓蒙活動を行いました。